

## 授業計画書(シラバス)

教科名	選択授業 バーナーワーク	曜日 時間	月曜日 9:10～15:50	担当者名	小曾川 瑠那
( 年間 1 授 2 回 業 日 )	4月	①②	10月		
	5月	1⑧15 22⑨	11月		
	6月	⑤12 ⑩	12月		
	7月	⑩	1月		
	9月	⑪	2月		
	方授 法業	( 講義 ・ ⑩ )			( 講義 ・ 実技 )
授 業 内 容	<p>『バーナーワークを通して、素材に対する探求心・考察力・理解度を深める授業を目指す。 作品の完成度より、実験的な試みへの態度・発見・展開を重視する。』</p> <p>この授業では、実験的アプローチを繰り返すことで自主性を促していくと同時に、技法の習得、機材の正しい使い方を学びます。 制作している／したものが割れたら失敗と捉えがちですが、そこには何らかのヒントが隠されているかもしれません。オリジナルの視点や興味を発見しながら想像、創造することの楽しさを一緒に探求したいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的なバーナーワークの技法と設備を学ぶ</li> <li>・完成度より実験を重視する</li> <li>・テストピースを共有しながら、技術とアイデアを発展させていく</li> <li>・制作した作品のプレゼンテーション方法を考える</li> <li>・海外の作家、異なる分野の人物など適宜紹介</li> </ul>				
到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実験と考察を通して、アイデアを創出させることを目的とする</li> <li>2. 酸素バーナーの扱い方や技術を習得しながら他の技法との違いを体感し、「ガラスとは何か」を探求する</li> <li>3. 自主的に学ぶ力、伝える力を身につける</li> </ol>				
成 績 評 価	積極性／個人の成長度／技法、機材、課題への関心度と理解度				
留 意 事 項	<p>事故や怪我防止のため、設備や道具の使い方をしっかり身につける。現状復帰。 酸素バーナー専用のサングラスが必要。各自購入必須。作品制作に関わる材料費等は自己負担。材料費は個々の制作による。</p>				